



大町市の企業紹介

(16)

—地域を支える地方企業—

毎月1日号の広報おおまちで、市内の企業を紹介しています。内容は各会社から提出いただいた原稿を基に掲載しています。掲載を希望する企業は、商工労政課 (TEL市内線541)までご連絡ください。

加炭材加工日本一を目指して

昭和35年、創始者（現 竹村商事会長）が竹村組として、昭和電工大町事業所発生の、電極スクランプの加工を開始しました。

昭和37年、竹村商事株式会社に社名変更し、人造黒鉛、電極スクランプ加工・販売を開始。同時に、製鐵所より発生する高炉カーボンの加工・販売を開始しました。

最近、平成20年度においては、月約1,500トンの出荷量にまで達しました。

当社加工のカーボン関係について、そのほとんどが各電極メーカーおよび高炉メーカーのスクランプ品であり、再生して商品化という、まさに昨今言われる大切な再資源化の一端を担つていると 思います。

特に高炉カーボンについては、 製鋼メーカー（新日鐵・JFE・神戸製鋼・住友化学ほか）各社より発生のほとんどが、当社にて引き取り、加工・再利用化されています。

今後につきましても、資源再利用化広くは地球環境の保全活動に 尽力してまいりたいと思います。



使用後の高炉カーボン（写真：右）等のスクラップ品を加工して、商品化（写真：左）します

竹村商事株式会社

生産者の心を安心とともに消費者にお届けします

当社は昭和54年に「長野県農協直販株式会社」として設立されました。長野県JAグループの一員として、信州産農畜産物の生産・加工・製造・販売を通して、消費者の皆様の健康と長寿に役立つ「安心・安全・高品質」な商品をお届けすることにより、皆様と地域社会に貢献することを目指して企業活動を展開しています。

当初は、大北営業所として堀六日町で営業活動を始めましたが食肉パック製造の要望が高まり、パック製造を主力とした大北パックセンターとして大町市社に移転し平成4年11月より稼動しています。

食の安全を第一にし、特に衛生

管理に配慮した施設で製品管理を

徹底して行い、コーチングながの共同

購入の製品製造を中心に月産15万

パックを製造しています。

また、2004年9月にはIS09001・2000品質マネージメントシステムの認証を取得しました。仕入れ、製造、販売の細部にわたる品質チェックを行い、お客様に安心していただける品質

長野県農協直販株式会社 大北ミートパックセンター

づくりに取り組んでいます。

現在、当社は長野県内に6営業所、2パック工場（大北含め）、アルプスハム工場、アルプスたま

ご工房、あづみ野低温流通センター等の事業拠点を有し、県域の各JA・農家の生産にかける「おもい」を商品とともに皆様にお届けしたいと考えています。消費者

の皆様のご要望・笑顔を最優先に生産と消費の仲立ちとして、おいしく手頃で組んでまいります。



所在地等	大町市常盤上一6905
代表者	取締役社長 熊野義正
事業内容	人造黒鉛・加炭材加工販売
Eメールアドレス	tsk@cb-wakwak.com

所在地等	大町市松崎6621-1
代表者	代表取締役社長 鹿田均
事業内容	農畜産物の生産・加工・製造・販売
Eメールアドレス	http://www.nagachoku.co.jp/